

建築研究所ニュース



平成 29 年 9 月 8 日

開発途上国 12 カ国 21 名の研究者や技術者を対象として実施した
1 年間の地震工学通年研修が終了します。

国立研究開発法人建築研究所では、毎年、開発途上国の若い研究者や技術者を対象とした、地震学、地震工学、津波防災の各分野に関する「地震工学通年研修」を（独）国際協力機構及び政策研究大学院大学と協力して行っています。

平成 28 年 10 月 4 日から開始した本研修では、地震学、地震工学、津波防災の 3 つのコースに分かれ、それぞれの専門性を考慮した講義や実習（平成 28 年熊本地震の被災現場の見学等）を行いました。

なお、この研修に選ばれて参加した 12 カ国（アルジェリア、バングラデシュ、エクアドル、エジプト、エルサルバドル、インド、メキシコ、ネパール、ニカラグア、ペルー、フィリピン、トルコ）21 名すべての研修生が閉講式に出席します。

この研修に参加した研修生によって、将来、開発途上国地域での地震発生時の被害の軽減が図られることが期待されます。

<参考①：閉講式の日程>

第57回国際地震工学研修閉講式

日時：平成29年9月13日（水）11:00～

場所：国立研究開発法人建築研究所2階講堂（つくば市立原1）

<参考②：これまでの研修修了生数（本研修修了生含む）>

- ・地震工学通年研修：81カ国から延べ1,163名
- ・国際地震工学研修：100カ国から延べ1,813名（地震工学通年研修含む）

（内容の問合せ先）

国立研究開発法人建築研究所

所 属 国際地震工学センター

管理室長

氏 名 飯竹理広

電 話 029-879-0678(直通)

E-mail iitake@kenken.go.jp